

災害協定締結 連携して守る

NPO 法人国際ボランティア学生協会 茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部 災害時の連携協定を締結

7月4日、市とNPO法人(特定非営利活動法人)国際ボランティア学生協会が、災害支援活動に関する協定を締結しました。災害発生時に市の要請により学生ボランティアが支援活動を行います。平常時からの情報交換等により、災害に対して協力・連携して対応します。

また同日、市と茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部は、災害時のLPガス等の供給協力に関する協定を締結。災害発生時に不足するLPガスボンベやガスコンロなどをいち早く被災地の避難所などに設置し、災害時の市民生活の安定を図ります。

今回の締結により、地域防災活動の連携・協力関係がさらに深まることになりました。



▲国際学生ボランティア協会と協定を締結(中央は下村代表理事、右は学生代表の砂田和樹さん)



▲茨城県高圧ガス保安協会猿島地方支部と協定を締結(中央は風見支部長、右は館野副支部長)

また、寄附者には古河市が誇る色とりどりの特産品が全国へ返礼品として贈られ、「おいしかった」「きれいだった」などの感謝のメッセージをたくさんいただいています。

全国に誇れる古河市の特産品の魅力を多くの人に伝え、よりよい施策を実現するためにまい進する古河市のふるさと納税にこれからもご期待ください。



▼PR用に作成したポスターに皆さん足を止めて見入っていました



▲JR有楽町駅前は大勢の人が全国の特産品を求め大盛況でした